



# 松江第一中学校だより

江戸川区立松江第一中学校

江戸川区松江5-5-1

校長 瀬戸 完一

令和6年12月5日 第8号

すべての生徒が安全・安心に生活し、夢や希望に邁進できる学校を築く

## 第76回人権週間 ～全ての人々が幸せな社会をめざして～

校長 瀬戸 完一

12月4日から10日は「人権週間」です。令和6年度の啓発活動重点目標は、「『誰か』のことじゃない。」となります。1948年12月10日に国際連合総会において「世界人権宣言」が採択されました。法務省の人権擁護機関では、1949年から毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権啓発活動を特に強化して行っています。年度ごとに具体的な課題として「啓発活動強調事項」を掲げ、人権啓発活動を実施しています。今年度の啓発活動強調事項は次の17項目となります

- (1) 女性の人権を守ろう
- (2) こどもの人権を守ろう
- (3) 高齢者の人権を守ろう
- (4) 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- (5) 部落差別（同和問題）を解消しよう
- (6) アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- (7) 外国人の人権を尊重しよう
- (8) 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- (9) ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- (10) 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- (11) 犯罪被害者やその家族の人権に配慮しよう
- (12) インターネット上の人権侵害をなくそう
- (13) 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- (14) ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- (15) 性的マイノリティに関する偏見や差別をなくそう
- (16) 人身取引をなくそう
- (17) 震災等の災害に起因する偏見や差別をなくそう

人は皆、幸せに生きる権利があります。人権とは誰もが生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きていくための権利です。しかし、今日においても様々な人権課題が存在し、偏見や差別に苦しんでいる人がいます。新たな人権課題も生じています。これらは決して、自分以外の「誰かのこと」「自分には関係のないこと」ではありません。自分のこととして捉え、身近な問題であることを改めて考えてほしいのです。

多くの人権問題が解決に向かうためにはどうしたらよいのでしょうか。人権が尊重され、平和で豊かな社会を実現していくためには、お互いをいたわり、思いやることが大切なのではないでしょうか。私達は家庭や地域、学校、職場など多くの人との関わり合いをもって生活しています。その中で、一人一人が自分らしく生き、他の人たちと共に皆が幸せに生きていくためには、お互いの個性を尊重し、認め合うことが必要だと考えます。人権週間では自分たちの身の周りを「人権」という視点で、もう一度考え直す機会としてみてください。